



幡代だより

令和2年度
第557号
渋谷区立幡代小学校
学校だより9月号

困難なことの先にある「楽しさ」

校長

4週間の夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声と笑顔が戻ってきました。この夏は新型コロナウイルスの影響や、猛暑等により子供たちの健康管理に苦労されたことと思いますが、大きな事故もなく子供たちが元気に夏休みを過ごしてくれたことを嬉しく思います。この夏は5、6年生の宿泊行事、プールなどが中止となり、ラジオ体操や地域行事なども行われず、いつもと違う夏休みの過ごし方をご家庭で工夫されたことと思います。この先も新型コロナウイルスの影響に加え、暑い日が続くようですが、子供たちには学校生活のリズムを取り戻し、円滑な教育活動を進められるようお力添えをお願いいたします。

学校では、渋谷区教育委員会が示した渋谷3S (Safe School Style) に則って、子供たちが安心して学習に取り組めるよう配慮してまいります。また『早寝・早起き・朝ごはん』『5分前行動』といった規則正しい生活や、『水分摂取、十分な睡眠、適度な運動、服装の工夫』などの熱中症予防についても働きかけてまいります。

さて今日から前期後半が始まります。まだまだ難しい状況下での学校生活になりますが、子供たちには勉強でも仕事でも「楽しい」「好きだ」と思えるような教育を進めてまいります。「楽しむ」ことについて、日米のプロ野球で活躍したイチロー選手の言葉を引用します。

イチロー選手——『周りの人からは「楽しんで野球をやれ」と言われるのですが、僕はその意味が分からなかった。「楽しむ」というのは笑顔で野球をやることではなくて、充実感をもってやるものだとして僕なりに解釈してきました。自分に重荷を課す、もっといいものを探し求める、できないことができるようになる、といったことが「楽しい」「好きだ」につながっていく。やっとそれにたどり着いたような気がします。』(『イチロー思考』三笠書房 より引用)

子供たちが何かに取り組んだ事を成し遂げた達成感、充実感をもつことにより、自分の成長を実感できるようになります。また誰もがもつ困り感を克服する作業も重要です。そうしたことで勉強や仕事が楽しくなり、さらに次の課題に挑戦する力になるのだと思います。イチロー選手が語っている、難しいことに取り組む楽しさ、探求する楽しさ、できるようになる楽しさ、などの「困難の先にある楽しさ」を子供たちが実感できるような教育活動を展開してまいります。

今日から前期の後半が始まるにあたり、学校行事の変更のお願いがあります。ご予約いただいた保護者の皆様に大変申し訳ありませんが、学校に大勢の人が集まる状況を避けたいという配慮に基づいておりますのでご理解くださいますようお願いいたします。またこの先の行事においても変更することがあります。

○明日(9月1日)に実施予定の『引き取り訓練』は、1年生だけが行き、2～6年生は実施しません。1年生のみ、14時45分より引き取りを開始します。9月1日の2～6年生は6時間授業です。

○9月12日(土)の土曜日授業では、保護者の参観を無しとさせていただきます。当日は保護者参観無しの授業を行い、11時30分から保護者会を各教室で実施いたします。